



大阪ガス

ガスクリーンヒーティング

取扱説明書 43-775・813型

保証書付

形式の呼び

RHF-303FT-1

RHF-303FT-2

RHF-402FT-1

RHF-402FT-2

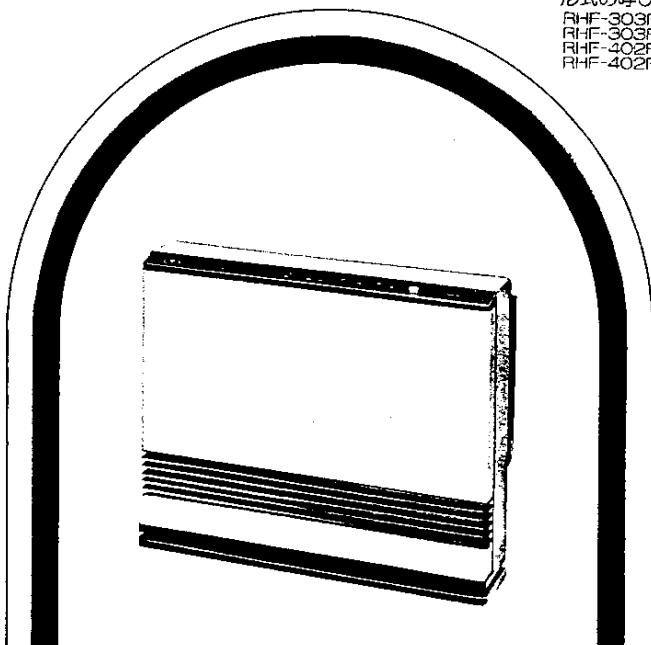
本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

本社ガスビルサービスセンター	●541	大阪市東区平野町5丁目1	★大阪	06 (202) 2221
南支社	●557	大阪市西淀川区玉出2丁目9番41号	★大阪	06 (652) 0001
北支社	●532	大阪市東淀川区十三番町3丁目6番25号	★大阪	06 (301) 1251
堺支社	●590	堺市住吉橋町2丁目2番19号	★堺	0722 (34) 1131
北摂支社	●569	福神市藤の堂39番6号	★高槻	0726 (71) 0361
阪神支社	●662	西宮市和上町4番11号	★西宮	0798 (26) 3101
東部支社	●576	堺大阪市場南2丁目3番17号	★河内	0729 (62) 1131
泉南支社	●573	吹田市西田原町16番17号	★吹万	0720 (41) 1251
神戸支社	●650	神戸市中央区相生町5丁目19番10号	★神戸	078 (574) 5231
京都支社	●604	京都市中京区烏丸御池南側356	★京都	075 (231) 8151
奈良支社	●631	奈良市宇治北2丁目4番1号	★奈良	0742 (44) 1111
和歌山支社	●640	和歌山市本町1丁目1	★和歌山	0734 (31) 2481
姫路支社	●670	姫路市神屋町4丁目10	★姫路	0792 (85) 2221
東播支社	●675	加西市高加西山町2番1号	★加西	0794 (21) 1801
岡山支社	●668	倉敷市玉坂町6丁目57番地	★倉敷	07862 (3) 2221
湖南支社	●525	愛知県名古屋市中区栄680の1	★名古屋	075 (62) 5311
静岡支社	●522	静岡市大塚町12番11号	★静岡	0745 (22) 3131
長浜支店	●526	長浜市高島町3番4号	★長浜	07486 (2) 2121

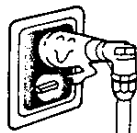
その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

大阪ガス株式会社

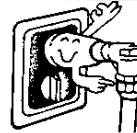
85.08.(00)



ガス器具をお使いになるときのご注意



ガス器具をお使いになったあとは必ずガス元せんも閉める習慣を



強化ゴム管もときどき点検し接続は確実に



ガス器具はガスの種類にあった正しいものを

●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

ごあいさつ

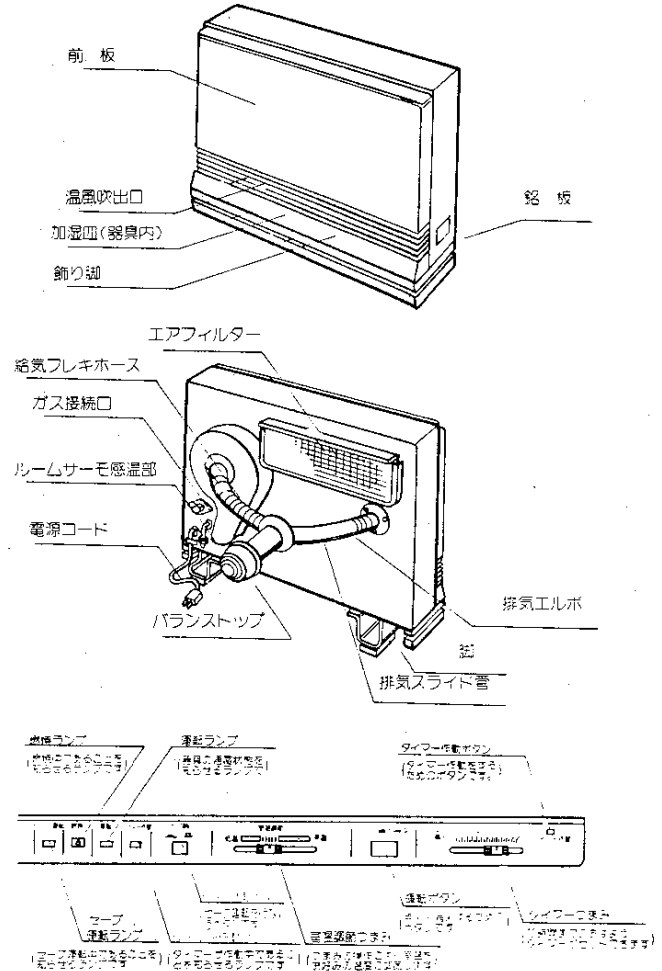
このたびは、大阪ガスのガスクリーンヒーティングをお求めいただきありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保存してください。

もくじ

- 各部の名称とはたらき 1
- 特に注意していただきたいこと 2~7
- 器具の設置 8
- 使用手順 9~14
- 使用時のご注意 15~16
- 日常の点検・お手入れ 17~18
- 故障・異常の見分け方と処置方法 19~20
- 長期間使用しない場合 20
- アフターサービスのお申し込み 21
- 特 長 22
- 寸法図と仕様一覧表 23

各部の名称とはたらき



特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

- ガスの種類を確かめてください。
ガス器具本体の右側面にはついている銘板（ラベル）に表示のガスの種類と、お宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。

（銘板）

メーカー型式

ガスの種類およびグループ

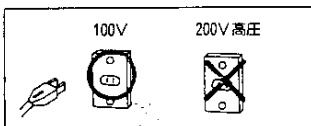
ガス消費量
製造年月日および製造番号
製造業者名

- 都市ガス用6C
- 都市ガス用6A
- 都市ガス用13A
- LPガス用

- ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスには、ガスグループの区分があります。
- 転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。
- 転居される場合には、部屋の交換や調整が必要となります。この場合に要する費用は保証期間内でも有料となります。

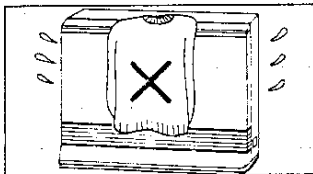
使用電源についてのご注意

- 電源の電圧と周波数を確かめてください。
この器具はAC100V、60ヘルツ用です。お宅の電源の電圧と周波数が一致しているか確かめてください。



用途についてのご注意

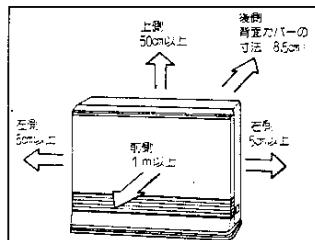
- 暖房以外の用途（衣類の乾燥など）には使用しないでください。
衣類などを器具の上に置いたりしますと、温風の出口や吸込口がふさがれてしまい、器具内に熱がこもり、異常過熱して器具に悪影響を与えることがあります。



特に注意していただきたいこと②

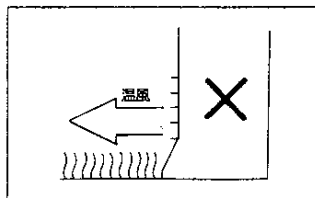
使用場所についてのご注意

- 理・美容院、メッキ・塗装工場、繊維関係の工場などでのご使用はお避けください。器具の故障の原因になります。
- 家具、壁、カーテンなど燃えやすいものや、引火性のものからは、じゅうぶんに離してください。後壁からは背面カバーの寸法、上は50cm、左右は5cm、前方は1m以内に家具、建具などの障害物のない位置を選んでください。



- 器具の使用場所は、お部屋の元せんの近くをお選びください。
配管を長くすると、あやまってふんだりひっかけたりするおそれがありますので、できるだけ元せんの近くで使用してください。（3m以内）

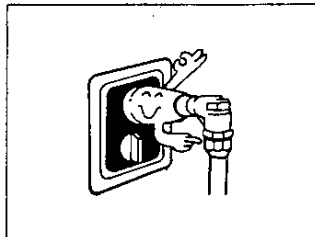
- 毛足の長いじゅうたんに置く場合は、敷き板等を敷いてください。
温風がじゅうたんにあたり、変色するおそれがあります。



使用上のご注意

ガス漏れ予防

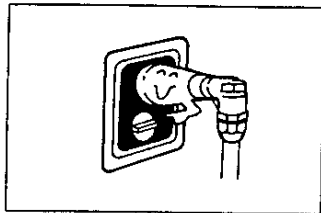
- ゴム管は強化ゴム管を使用し、ガス用ゴム管は絶対に使用しないでください。
- 強化ゴム管は、ときどき点検を行ない、ひび割れしたり、接続口がゆるんでいれるものは必ず取り替えてください。



特に注意していただきたいこと③

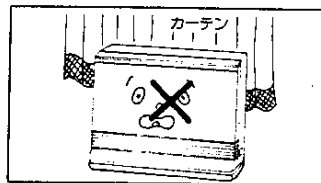
使用上のご注意

- 使用後は必ず運転ボタンを「切」にし消火したことを確かめてください。
- タイマー運転されない場合で消火された時や、長期不在、シーズンオフ等の場合は必ずガス元せんを閉じてください。



火災予防

- 器具の上やそばに、燃えやすいもの（紙、カーテン、家具、揮発油など）を絶対においたり近づけたりしないようにしてください。また、紙、布、など可燃物を温風吹出口や吸込口に入れないでください。

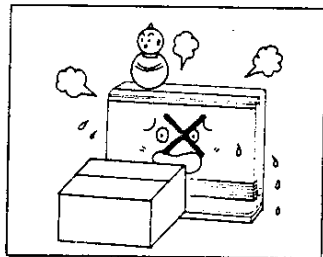


火災のおそれがあります。

- ヘアスプレーなど引火物を、器具の近くで使用しないでください。炎は見えていませんが、引火するおそれがあります。
- 外出、就寝時には必ず消火してください。ただし、タイマー運転の場合は、このかぎりではありません。

過熱防止

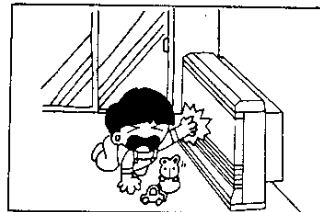
- 温風吹出口の前に物を置いたり、ふさいだりしないでください。異常過熱して、器具に悪影響をあたえるばかりでなく、お部屋があたたまらないこともあります。



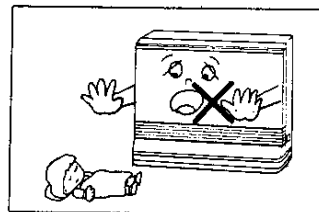
特に注意していただきたいこと④

やけどのご注意

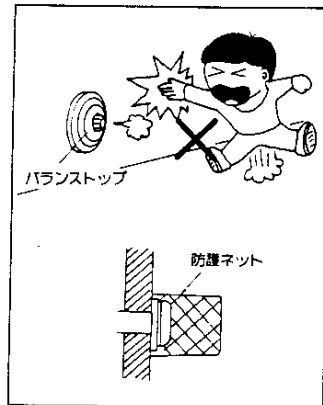
- ご使用中および使用直後は、温風吹出口とその周辺は熱くなりやけどのおそれがありますので、手を触れたりしないでください。特に、小さなお子様がいるご家庭はご注意ください。また、小さなお子様が勝手に点火操作をしないようご注意ください。



- 温風をじかに長時間お体にあてますとやけどのおそれがあります。特に乳幼児、お子様、お年寄り、病気の方などがお使いになるときは、周囲の方が注意してあげてください。



- 暖房中バランストップは高温になりますので手を触れたり、近づいたりしないでください。お子様の手の届く所にバランストップが設置される場合は防護ネット（別売品4/48 315）をご利用ください。



- 使用中の風向調節は行なわないでください。やけどのおそれがあります。（詳しくは12ページ「風向調節」をお読みください）

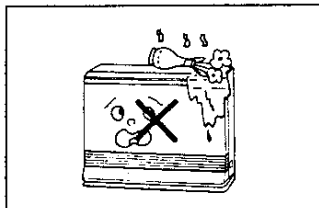
特に注意していただきたいこと⑤

ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときは、ガス元せんを閉じ、窓や戸を全部あけて、ガスを外へ出してから、もよりの大阪ガス支社にご連絡ください。
- 万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり換気扇その他電気器具に触れたり（スイッチの入・切や電源プラグの抜き差しなど）しないでください。火や火花で引火し爆発事故を起こす危険性があります。

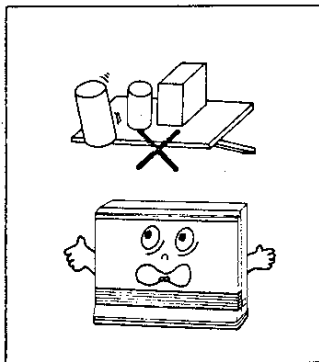
水ぬれのご注意

- 器具に水は禁物です。花びんをのせたり、水のかかる所で使用しないでください。内部が水でぬれますと、腐食することがあるばかりでなく、漏電・火災の危険があります。



異物落下のご注意

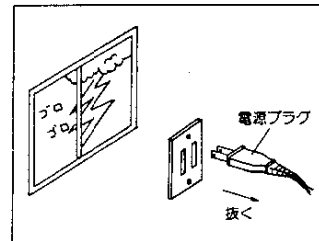
- 棚の下など落下物の危険のあるところでは使用しないでください。



特に注意していただきたいこと⑥

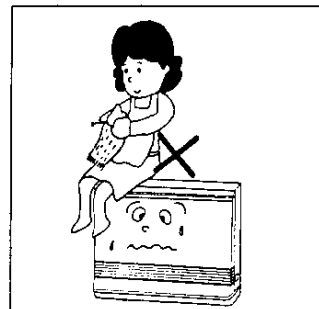
雷雨時のご注意

- 雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがありますので雷が発生したときはすみやかに電源プラグをコンセントより抜いてください。



その他のご注意

- 器具に腰をかけたり、のつたりしないでください。やけどや器具の変形のおそれがあります。



異常時の処置

- ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのまま使いにならず、直ちにご使用をやめ（運転ボタン、ガス元せんを止め）十分な点検をお願いします。（故障・異常の見分け方と処置方法については19、20ページをお読みください）

日常の点検・手入れ

- 日常の点検・手入れは必ず行なってください。（詳しくは17、18ページをお読みください）
- 故障または破損したと思われるものは使用しないでください。不完全な修理は危険です。

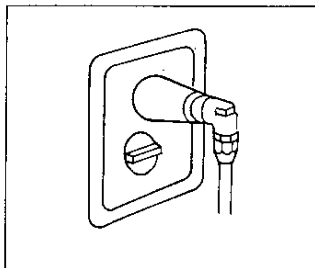
器具の設置

使用場所についてのご注意

- ご使用になる場合は、3ページの使用場所についてのご注意をお読みください。
- 正しく設置されているか、工事説明書を参照して確認してください。

ガス接続

- 強化ゴム管はひび割れ、軟化、硬化など老化したものを使用しないでください。
- 強化ゴム管は大阪ガス指定の強化ゴム管を使用してください。
- 強化ゴム管は、折れ、引張りなどの力がかからないようにし、長さはできるだけ短くしてください。
なお、ゴム管は踏みつけられないように接続してください。
- 強化ゴム管は、薬品・油など損傷を受けないように接続してください。
- 強化ゴム管は排気の通る部分に絶対に触れさせないでください。



使用手順

はじめてお使いのとき

- はじめてお使いのときや、しばらく使用されなかったあとなどは、ゴム管内に空気が入っているため、すぐに着火しない場合があります。
- 着火しなかった場合は再度点火操作を行なってください。
- 初めて使用される場合やシーズン初めには、煙やにおいが出る場合がありますが、これは耐熱塗料やほこりが焼けているため別に異常ではありません。
2～3日でなくなりますのでお部屋の換気をしながらご使用ください。
- 点火時や、ルームサーモ作動時、及び消火時に器具から金属音が出る場合がありますが、これは熱交換器の膨張、収縮する際のひずみ音で異常ではありません。

点火前の準備と確認

- 電源プラグを交流100Vのコンセントにしっかりとさしこんでください。

<ご注意>

交流100V用コンセントであることを確認してください。200V等の場合、器具がこわれてしまいます。

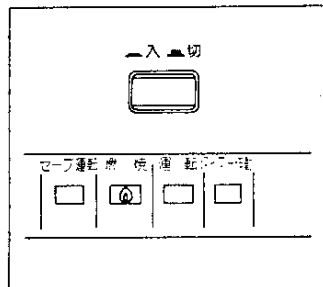
- 運転ボタンの「切」を確認し、ガス元せんを全開にしてください。

<ご注意>

ガス元せんが全開になっていないと着火しにくかったり、正常な燃焼ができなくなり、安全装置で消火してしまうことがあります。

使用手順②

点 火



●点 火

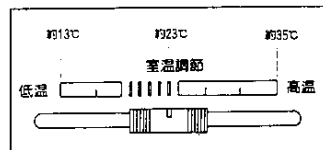
- ①運転ボタンを「入」にしてください。
- ②運転ボタンを入れると同時に運転ランプが点灯し、約15秒後にスパークが飛び、バーナーに着火します。
- ③バーナーに着火すると燃焼ランプが点灯しますから確認してください。
- ④温風は約90秒後に出ます。

<ご注意>

室温が設定温度(室温調節つまみの位置)より高い場合は運転ランプは点灯しますが、スパークは飛ばずに燃焼ランプも消灯のままの状態になります。これは室温調節による温度調節が働き「止」の状態になっているためです。

(次項の「室温調節」をお読みください。)

室温調節



●室温調節つまみでお好みの室温に調節してください。

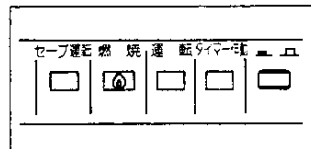
ルームサーモ(室温調節器)の働きにより、「比例燃焼」「止」の切り替えで自動的に室温を一定に保ちます。

<ご注意>

室温調節つまみのセット温度は、ルームサーモ感温部の温度です。部屋の温度計とは必ずしも一致しません。あくまでも目安と考えてください。家屋の構造、外気温度、使用位置によっては、お好みの温度にならない場合があります。

使用手順③

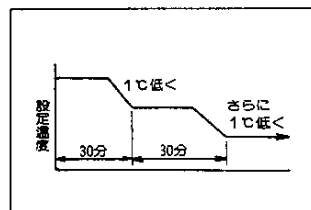
セーブ運転



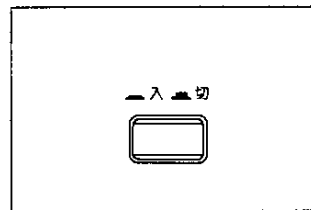
- セーブ運転ボタンをセットしますと、ランプ(緑色)が点灯し、お部屋の温度が設定温度に到達後、30分たつと設定温度を自動的に1℃低めにコントロールします。
- さらに30分たつと設定温度をさらに1℃低くします。

<ご注意>

お部屋の構造、設定温度、室外温度などによっては、強連続燃焼のままで見かけ上セーブ運転をしないことがあります。



消 火



- ①運転ボタンをもう一度押し込んでください。運転ボタンは自然に「切」の位置へ戻ります。

- ②表示ランプはすべて消えますが対流用ファンは数分間回り続けて、自動的に止まります。

- ご使用後は、ガス元せんも閉じてください。

<ご注意>

消火後、対流用ファン(温風)が止まるまで電源は抜かないでください。器具内部の熱を出して過熱をふせぐために必要です。使用中、電源プラグを抜いて消火することはしないでください。

使用手順④

停電時の処置

●停電時の処置

停電になったときは、運転ボタンを「切」にもどし、ガス元せんを止めておいてください。

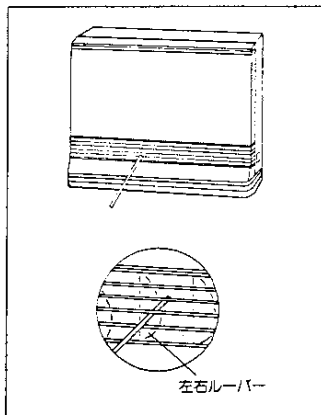
●停電後の再点火

ガス元せんを全開にし、通常の点火操作を行なってください。

<ご注意>

- ・運転ボタンが「入」のままで停電が復帰しても運転はしません。
- ・使用中停電になったとき対流用ファンが止まるため、器体上部が過熱します。器体上部にふれないでください。(すぐに再通電したときは、対流用ファンだけ回り過熱をふせぎます)

風向調節



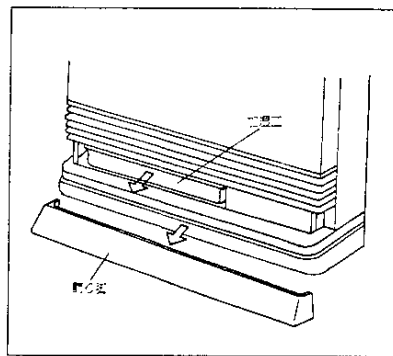
- 風向きは左右のみ変えることができます。図のように適当な棒で調節してください。5～6回程度調節ができます。(それ以上行なうと折れる場合があります。)

<ご注意>

湿風が吹き出している時の風向調節はやけどのおそれがありますので行なわないでください。

使用手順⑤

加湿皿への給水方法

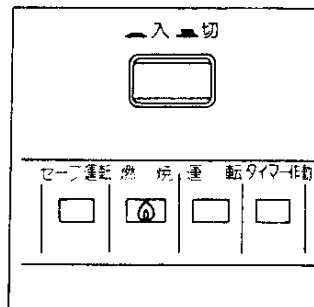


- 飾り脚の左右に手をあてて手前に引いてとりはずしてください。
- 加湿皿を手前に引き出して、やかん等で給水してください。
- 給水が終了しましたら、加湿皿を元の位置に静かに押し込んでください。

<ご注意>

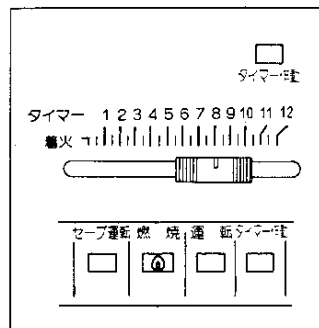
- 水位線より上に給水しないでください。水があふれて床が濡れることがあります。
- 燃焼中の給水は行なわないでください。やけどのおそれがあります。

タイマー運転の方法



- このタイマーは暖房運転を自動的に開始させるためのタイマーです。ご希望の時間にセットしてください。セットした時間が経過すると暖房運転を開始します。
- 運転ボタンを「入」にして、着火を確認してください。
- 燃焼ランプが点灯します。

使用手順⑥



- タイマーつまみをご希望の時間にセットし、タイマー作動ボタンを押します。運転ランプと燃焼ランプが消灯し、タイマー作動ランプが点灯します。
- 何時間後に暖房を開始させるか決めて、タイマーつまみをスライドさせてご希望の時間にセットしてください。

- タイマーで設定した時間が経過すると運転を開始します。この時運転ランプと燃焼ランプが点灯します。(ただし、タイマー作動ランプも点灯しています。)運転は3時間を経過すると停止します。この時、タイマー作動ランプは点灯しています。
- タイマー運転をとりやめる場合は、タイマーつまみを「着火」の位置にもどし、タイマー作動ボタンをOFFにしてください。これで着火します。暖房が不要の場合は運転ボタンを「切」にしてください。

<ご注意>

- タイマー作動ボタンを押さないと、タイマー運転をしません。
- 通常運転中にタイマー作動ボタンを押しますと、3時間後に停止します。
- タイマーの設定時間は20分程度の誤差を生じることがあります。
- 1時間以内、及び12時間以上のタイマーセットはできません。
- タイマー目盛を「2」以内に合わせるときには、一旦「2」以上にスライドさせてからご希望の目盛までもどしてください。

使用時のご注意

安全装置が作動したときの処置方法

- ハイリミットスイッチ（過熱防止装置）の作動
エアフィルターが目づまりしたり、温風吹出口に障害物があったりした場合には器具内が異常に過熱します。この場合、自動的にガス通路を閉じ、消火してしまいます。エアフィルターを掃除し、障害物を取り除いた後、しばらく（5～6分）してから再点火してください。(電源プラグは対流用ファンが回っているあいだは抜かないでください。)
- 過熱防止用温度ヒューズの作動
万一異常過熱したときに、温度ヒューズが作動して消火します。(二重の安全装置)
この場合は、器具を冷やしても再点火できません。修理が必要です。お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。
- 電流ヒューズの作動
ご使用中なんらかの原因で過電流が流れると、電流ヒューズが切れて、使用できなくなります。点火操作をしても運転ランプがつかなくなります。修理点検が必要です。お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。
- 停電安全装置の作動
停電時は使用できません。安全装置が作動し、生ガスの放出を止めます。停電中は必ず運転ボタンを「止」にもどし、ガス元せんを閉じておいてください。
12ページの「停電時の処置」をお読みください。

使用時のご注意②

安全装置が作動したときの処置方法②

- 消火センサー(安全装置)の作動
使用中にバーナーが消えた場合に安全装置が働き、生ガスの放出を防止します。
ガス元せんが開きたりなかったときなどにおこります。
点検後、再点火してください。
- ファンコントローラ(送風制御装置)
電気回路中に組み込まれている送風制御装置で、消火後に器具の過熱を防止します。対流用ファンは消火後数分間は止まりません。回っている間は電源プラグは抜かないようにしてください。
消火後すぐに電源プラグを抜いたり、電源プラグを抜いて消火しますと、器具が過熱して故障の原因になります。また、器体上部が過熱してやけどの危険があります。
- 逆火安全装置の作動
ご使用中ならんが原因で、バーナーが過熱して、逆火の危険がある場合、電磁弁を閉じて、ガスを止めます。修理点検が必要です。お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。
- カットオフサーモの作動
タイマー運転による器具運転時、器具前に物等がおかれた場合、安全装置が働き、器具が停止する可能性があります。障害物を除去して再運転してください。

<ご注意>

安全装置が作動したあと、点検して再点火しても、たびたび同じように作動をくりかえすような場合は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

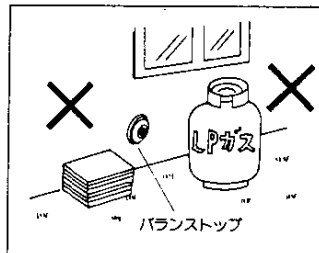
日常の点検・お手入れ

点検・手入れの際のご注意

点検・手入れについては、下記の日常の点検以外はお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社に依頼してください。
点検・手入れ前には必ずガス元せんを閉じ、器具が冷えてから行なってください。また電源プラグを抜いてから行なってください。

点 検

- 強化ゴム管は規定の強化ゴム管で新しいものをできるだけ短くして用い器具に触れさせたりしないでください。
- 強化ゴム管は、器具のガス取入口へ確実に接続してください。またガス元せんの部分も同様に確実に接続し、ときどき石けん水などで濡れていないか点検してください。
- 器具の近くに、紙・プラスチック・油類など燃えやすいものが置いてないか点検してください。
- バランスストップの先端の近くに障害物はありませんか。可燃物、危険物などがある場合は、遠ざけてからご使用ください。
また、バランスストップの先端がつまりますと不完全燃焼を起こして器具の寿命が短くなります。ときどき点検してください。

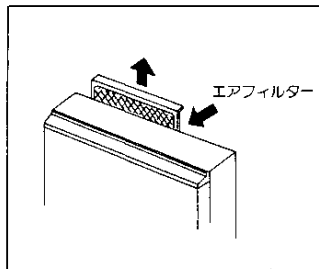


- 排気スライド管、バランスストップは長期間ご使用になりますと、周囲の条件によって腐食することもありますのでサビが発生してぼろぼろになっていないか点検してください。また、給気フレキホースがやぶれていないかときどき点検してください。
やぶれたり腐食したりしていますと危険ですので新しいものとの交換を、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご依頼ください。

お手入れ

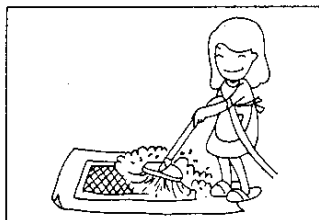
● フィルターのお手入れ

- エアフィルターは週一度以上必ず掃除してください。
エアフィルターは図のように上方に引き出すはずれます。フィルターは電気掃除機などでよく掃除してください。よごれがひどいときは、ぬるま湯で洗ってよく乾かしてからご使用ください。



- エアフィルターはきっちり差し込んでください。

- エアフィルターにゴミやホコリがたまりますと室内循環用の風量が減って暖房効果が悪くなるばかりでなく、異常過熱や、安全装置の作動の原因になります。



器具外装のお手入れ

- やわらかい布をぬるま湯でぬらしてよくしぼってからふいてください。汚れがひどいときは、液状の洗剤を布にふくませて汚れをおとしてください。このときは、洗剤をよくふきとってください。

<ご注意>

- 金属たわし、みがき砂などは使用しないでください。またベンジン、シンナーなど揮発性のものは絶対に使用しないでください。キズがついたり色があせたりします。
- 器具が冷えているときに行なってください。使用中や使用直後は一部温度が高い所があり、やけどをするおそれがあります。

故障・異常の見分け方と処置方法

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、直ちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

現象 原因	原因							処置方法	参照ページ
	電源プラグが差し込んでいない	スパークプラグが劣化している	点火プラグの隙間が狭い	ガス元せんの開き忘れ・開き不十分	ガス元せんの開き忘れ	配管の接続が不完全	配管のひび割れ・穴あき		
電源プラグが差し込んでない	○	○	○					電源プラグを確実に差し込む	9
ガス元せんの開き忘れ・開き不十分				○		○		ガス元せんを全開にする	9
配管内に空気が残っている				○			○	点火操作をくり返してください	9
配管の接続が不完全						○		確実に接続する	8
ガスの種類が違う				○		○	○	本体右側の銘板を確認してください	2
配管が長すぎる 配管の折れ曲がり・つぶれ				○				不具合を除き再点火してください	8
配管のひび割れ・穴あき						○		配管を交換	8
サーモが「低温」側になっている								サーモの設定より室温が高いため「弱燃焼」または「止」になっている。サーモを「高温」側にする	10
バランスストップ開閉に障害物がある バランス管の接続がわるい							○	障害物を取りのぞく 点検修理を依頼する	17
フィルターがつかまっている 炊出口に障害物がある 炊出口にはこりづまりが多い							○	日常の点検手入れを実施してください。障害物を除き再点火してください	15 18
停電があった							○	通電後点火操作を行なう	11
スパーク装置の故障（コード外れなど）		○	○					点検修理を依頼する	
安全装置が作動した	○	○	○			○	○	点検修理を依頼する	15 16

● 処置方法や原因のわからないときは、お買い求めの販売店または大阪ガス本社へご連絡ください。

故障・異常の見分け方と処置方法②

- 次のような現象は故障ではありません。

現 象		説 明
点 火 時	燃焼してもすぐ温風が出てこない。	正常です。内部が暖まると温風が自動的に吹き出てきます。
	初めて使用するとき、煙やにおいが出る。 点火後、「コツコツ」という音がする。	異常ではありません。耐熱塗料やホコリなどが焼けるためです。 異常ではありません。熱交換器の膨張収縮の音です。
燃 焼 時	室温調節が働いた時「カチン」という音がする。 バランスストップからゆげが出る。	正常です。内部機構の音です。 正常です。
消 火 時	運転ボタンを「切」にしても対流用ファンが数分間運転している。	内部が冷えると自動的に止まります。

長期間使用しない場合

- 飾り脚を外し、加湿皿の水を取り除いてください。
(13ページの「加湿皿への給水方法」をお読みください)
- エアフィルターのホコリを取り除いてください。
(18ページの「フィルターのお手入れ」をお読みください)
- よくお手入れのうえ、ガス元せんを閉め、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- シーズンオフにも、できるだけ設置したままにされることをおすすめします。
取り外して収納する場合は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

<ご注意>

- お客さま自身で移動したり、設置したりしないでください。
- 器具の下にある、じゅうたん、畳などを交換する場合は、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

- 19、20ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買上げの店またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

- (1) 品 名……クリーンヒーティング
- (2) 品 番……左側面下部に貼付してあります。

(例)

(N)43-775(U)

大阪ガス株式会社 **08**

- (3) 現 象……(できるだけ詳しく)
- (4) 道 順……(できるだけ詳しく)

転居される場合

- ガスには都市ガス14種類およびLPガスの区別があります。電気の周波数にも50Hz、60Hz があります。
ガスの種類や周波数が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、お買上げの店またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。
この場合調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証書について

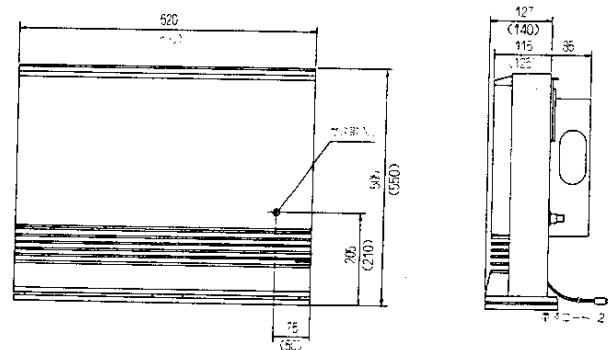
- この器具には保証書がついています。
このクリーンヒーティングは保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。
保証書を紛失されると、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

特 長

- 1** 燃焼に必要な空気および燃焼排ガスは屋外から給排気しますので部屋の空気を活かせません。
- 2** 比例制御により室温の変動がほとんどありません。したがって快適性、経済性がより一層向上します。
- 3** 対流用ファンも暖房の状態に応じ、比例運転します。
- 4** プッシュ式スイッチのワンタッチ点火で操作が簡単です。
- 5** セーブ運転システムの導入により、さらに維持費の低下がはかれます。
- 6** コンパクトな薄型デザインです。
- 7** 12時間おはようタイマー付です。
- 8** 足元から暖かさが広がる温風下吹出しです。

寸法図と仕様一覧表

寸 法 図



仕様一覧表

()内は43-513型

項目		種別	43-775	43-813
ガス消費量	都市ガス	6 C	2900kcal/h	3800kcal/h
		13 A	2900kcal/h	4000kcal/h
		6 A	2900kcal/h	4000kcal/h
		LPガス	0.24kg/h	0.33kg/h
暖房の目やす			6~9畳(9.7~14.5㎡)	8~12畳(13~19.4㎡)
外形寸法(mm)			H505×W620×D200	H550×W690×D210
重 量(kg)			17.5	20.5
接 続	ガ ス	R3/8オネジ		
	電 気	AC100V・60Hz		
電気消費量(W)			63(強)	73(強)
燃 焼 方 式		強制燃焼式		
給 排 気 方 式		密 閉 式		
放 熱 方 式		強制対流方式		
点 火 方 式		連続スパーク点火式		
安 全 装 置		<ul style="list-style-type: none"> ・消火センサー・電流ヒューズ・ファンコントローラ ・過熱防止(温度ヒューズ、ハイリミットスイッチ2個) ・停電時安全装置・逆火安全装置 ・カットオフサーモ 		

memo

おねがい

ガスくさいときは、お部屋の元せんを閉め、窓を全開にしてから
(火気に注意して)、大阪ガス支社にご連絡ください。